



八巻歯科医院院長(神奈川県)

## 山口里恵 ⑥

担任は、とても怖い先生だった。

頭が良くてクラスの人気者の生徒には優しい先生だったが、地味で目立たなく出来の悪い生徒には厳しく意地悪だった……。これはあくまでも私の主観であるが……。

成績の悪い私は終業式が終わ

っていないなければならない。大好きなテレビもプールもはるかかなたの夢のまた夢である。毎日、宿題の予定を立てるだけで、やった気になっていた。

当時、母の従妹が在日アメリカ軍の軍人と結婚し、家族ぐるみの付き合いだったので、その

いないことがばれたのだ。

残り2日という短期間では到底終わらない量で、父から大目玉を食らった。最高の夏休みは最低の夏休みに一変し、泣きながらやってもやっても終わらない宿題の山に、いつしか父は怒りを忘れ、電卓片手に答えだけを教科書に書き出した。母の妹である叔母と一人がかりで……。

## 夏休みの宿題

ると成績表をテーブルに残し、その日のうちに祖父の家に泊まりに行く。父母の怒りが冷めるのを待って帰宅し、そこから平和な休みが始まる。しかし夏休みには、膨大な量の宿題が出た。

40日の休みで日割りして、1日何ページやれば終わるのか計算すると、朝から晩まで机に向か

年に限って二家族で旅行に行ったり、プールで遊んだり、本牧ベースでそのころ珍しいボーリングをしたり、最高の夏休みを過ごした。

その結果、悲惨な事態が訪れた。休みが終わる2日前、私が部屋に閉じこもっているのを不審に思った父に宿題を全然やって

自由研究は歌川広重の東海道五十三次の絵を模造紙に張っただけ。やっと終わったのが始業式の朝。そこから数十年たち今の私がある。

数年後に小学生になった孫が「ばあちゃん、宿題どうしよう」と言ったら、果たして答えを教科書に書けるかどうか……。

「夏休みの思い出は楽しいものか、苦しいものか」と聞かれたら、みなさんは何と答えるだろう。私の忘れられない強烈な夏休みの思い出は、小学校4年生にさかのぼる。

当時お嬢さま学校に通い、まじめというより根暗だった私の